

制作

夏祭りの金魚作り

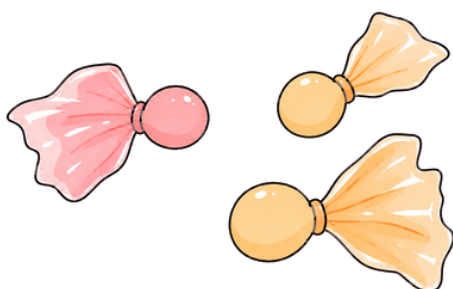
🕒 所要時間 20分

支援のねらい

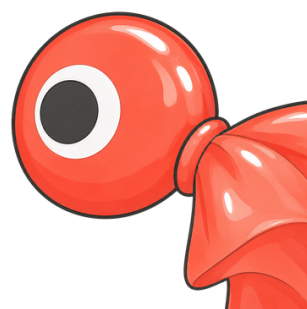
- ・ 児童の想像力を豊かにし、指先を使うことで手先の器用さを身につける

用意する物

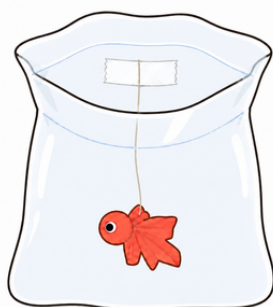
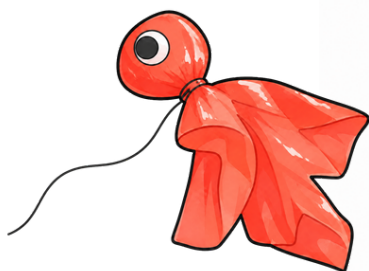
- ・ カラーのお花紙 ・ ティッシュ ・ 輪ゴム ・ 丸シール(白)
- ・ 丸シール(黒) ・ ミシン糸(10cm) ・ 透明のビニール
- ・ スズランテープ(青) ・ 赤い紐(手さげ用) ・ セロハンテープ



① 好きな色のお花紙を用意し、半分の大きさにカットします。てるてる坊主を作るようにティッシュ1枚を丸め、お花紙で包み首をひねり、輪ゴムで止めます。



② 丸シールを大きい白→小さい黒の順に貼り、金魚の目を作ります。



③ お花紙で作った金魚の上部に10cm程のミシン糸を付けます。ビニール袋の内側に金魚についたミシン糸をセロハンテープで固定します。



④ ビニール袋の中にスズランテープを細く裂いて、水に見えるようにビニールの底に入れます。その後、空気を入れるように輪ゴムで封をします。最後に手さげ用の赤い紐をつけて完成です。



注意点

- ・ 丸シールや輪ゴムを口に入れないよう注意する。
- ・ ビニール袋を頭に被らないように注意する。



実施のポイント

- ・ 金魚につけるミシン糸はそれぞれ長さを変わると、金魚が外から見えやすくなります。